

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営	No.	45
具体的な取組項目(小項目)	4 受益と負担水準の検証と各種使用料等の負担水準の適正化	担当課	財務課
改革実施項目名称(細項目)	各種使用料手数料の見直しなど行政サービスの受益と負担の適正化、減免の適正化		
現状と課題 (これまでの取組み)	これまで公民館の利用料金などの見直し・体育施設の同種施設間の負担水準が統一されたが、基本方針が策定されていないため、基本方針に基づく受益者負担の適正化が図られていない。また、基本方針の策定にあたり、ファシリティマネジメントに基づく施設の最適化動向に配慮する必要がある。		
事業の目標・目的 (考えられる効果)	<<計画期間の目標>> ・公の施設の使用料について「受益者負担の原則」に基づき、行政と市民(受益者)がそれぞれ負担すべき割合を定め、負担水準の適正化を図るとともに、受益者負担の対象範囲や積算根拠を明確にし、透明性の確保に努める。併せて、減免の適正化も図る。 <<事業の最終目標>> ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化		
取組の内容	・ファシリティマネジメントに基づく施設の最適化動向に配慮した「基本方針」の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化		

改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降
			計画	実績	計画	実績	
		・ファシリティマネジメント(以下「FM」)に基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成に向け、同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を実施した。	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化に向けた関係課との協議、使用料の見直し検討	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成に向け、同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を実施した。	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化に向けた関係課との協議、使用料の見直し検討
指標	適正化の取組み	準備・検討	準備・検討	準備・検討	準備・検討	準備・検討	準備・検討

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	進捗に遅れあり	・基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	進捗に遅れあり

※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		・基本方針(案)の作成に向け各種施設の分析を実施しながら検討を行ったが、確定に至らなかった。	C	・種別毎に施設を分類した上で、施設カルテを活用し、各施設の収支率の分析を行った。	B
	課題、今後の方針、改善事項など		・引き続き、基本方針(案)の作成及び同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を実施する。		・施設カルテ等を活用し、同種施設間の負担水準の格差是正に向けた分析を引き続き行うとともに、基本方針(案)の作成を進める。	

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価			平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		・種別毎に施設を分類した上で、施設カルテを活用し、各施設の収支率の分析を行った。		B	・引き続き、基本方針(案)の作成及び同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を進める。
課題、今後の方針、改善事項など		・施設カルテ等を活用し、同種施設間の負担水準の格差是正に向けた分析を引き続き行うとともに、基本方針(案)の作成を進める。				

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営	No.	45			
具体的な取組項目(小項目)	4 受益と負担水準の検証と各種使用料等の負担水準の適正化	担当課	財務課			
改革実施項目名称(細項目)	各種使用料手数料の見直しなど行政サービスの受益と負担の適正化、減免の適正化					
現状と課題 (これまでの取組み)	これまで公民館の利用料金などの見直し・体育施設の同種施設間の負担水準が統一されたが、基本方針が策定されていないため、基本方針に基づく受益者負担の適正化が図られていない。また、基本方針の策定にあたり、ファシリティマネジメントに基づく施設の最適化動向に配慮する必要がある。					
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・公の施設の使用料について「受益者負担の原則」に基づき、行政と市民(受益者)がそれぞれ負担すべき割合を定め、負担水準の適正化を図るとともに、受益者負担の対象範囲や積算根拠を明確にし、透明性の確保に努める。併せて、減免の適正化も図る。					
	≪事業の最終目標≫ ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化					
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度	平成30年度	最終目標/ 31年度以降	
			計画	実績		計画
		・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化に向けた関係課との協議、使用料の見直し検討及び住民周知	・FMに基づく施設の最適化動向に配慮した基本方針(案)の作成に向け、同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を実施した。	・同種施設間の負担水準の格差是正 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化に向けた各種手続きの実施、見直し可能な施設から順次実施	・同種施設間の負担水準の格差是正 ・「基本方針」に基づく受益者負担の適正化に向けた各種手続きの実施、見直し可能な施設から順次実施
指標	適正化の取組み	準備・検討	準備・検討	準備・検討	準備・実施	準備・実施

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度	平成30年度
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業	進捗に遅れあり ・基本方針(案)の策定 ・同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度	平成30年度
	取組工程、指標に対する評価		・各種施設の分析を実施しながら、基本方針(案)の作成検討を行った。	B ・他都市状況の把握や各種施設の分析を進めながら、基本方針(案)の作成検討を行った。

計画期間の評価	計画期間の評価			平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		・基本方針(案)の作成に向けて、本市施設を種別毎に分類した上で、施設カルテを活用し各施設の収支率の分析を実施するとともに、他都市の取組状況の把握や分析を深めながら検討を行ったが策定には至らなかった。	C ・2019年10月の消費税率引上げ動向も踏まえつつ、引き続き、基本方針(案)の作成及び同種施設間の負担水準の格差是正に向けた準備作業を進める。
	課題、今後の方針、改善事項など		・他都市負担水準も参考に踏まえながら、本市施設カルテの活用により、維持管理コストや使用料収入の分析を実施し、引き続き、負担すべき水準の検証を進めるとともに、基本方針(案)の作成を行う。 ・また、基本方針(案)の策定にあたっては、施設種類ごとの配置方針など、ファシリティマネジメントに基づく施設の最適化動向に配慮しながら進めていく。	